

株式会社群馬銀行 (2019 年グリーンボンド)

契約の種類： アニュアルレビュー

日付： 2020 年 11 月 9 日

担当者：

Wakako Mizuta, wakako.mizuta@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

Marie Toyama, marie.toyama@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

はじめに

2019 年 11 月、株式会社群馬銀行（以下、「群馬銀行」）は 再生可能エネルギー、エネルギー効率、クリーンな輸送、グリーンビルディングに関連するプロジェクトへのファイナンス又はリファイナンスを目的とするグリーンボンドを発行しました（以下、「グリーンボンド」）。2020 年 10 月、群馬銀行はサステイナリティクスに対して、グリーンボンドを通して資金の充当を受けたプロジェクトを審査し、これらのプロジェクトが群馬銀行グリーンボンドフレームワーク（以下、「グリーンボンドフレームワーク」）¹ で規定された資金使途やレポーティングのクライテリアを満たしているかの評価を委託しました。

評価基準

サステイナリティクスは、以下の要件について、2020 年 9 月 30 日時点で調達資金の充当を受けたプロジェクトを評価しました。

1. グリーンボンドフレームワークで規定された調達資金の使途及び適格クライテリアとの適合
2. グリーンボンドフレームワークで規定された各調達資金の使途のクライテリアに対する少なくとも一つの主要業績評価指標（KPI）に関する報告

表 1 に調達資金の使途、適格クライテリア及び関連する KPI を示します。

表 1：調達資金の使途、適格クライテリア及び KPI

群馬銀行は、グリーンボンドの発行によって調達した資金を、以下の適格クライテリアを満たす新規および既存の融資または支出に充当することを表明しています。

調達資金の使途	適格クライテリア	KPI
a.再生可能エネルギー	<p>対象発電設備の資産の賃貸、取得、建設、運転、施設拡張を含む、当該発電事業向け融資</p> <p>i. 太陽光発電事業（子会社のぐんぎんリース株式会社が行うリース事業に関連する支出を含む）</p> <p>ii. バイオマス発電事業</p> <p>※ただし、廃棄物由来のバイオマス資源である発電事業に限定する</p> <p>iii. 水力発電事業</p> <p>※ただし、発電容量が 25MW 未満の発電事業に限</p>	<ul style="list-style-type: none"> • CO₂ 削減量合計値 (i) + (ii) + (iii) • 電源別（太陽光 (i)、バイオマス (ii)、水力 (iii)）の CO₂ 削減量

¹ 株式会社群馬銀行グリーンボンドフレームワークの概要（2019）：

<https://www.sustainalytics.com/sustainable-finance/wp-content/uploads/2019/10/Gunma-Bank-Green-Bond-Second-Party-Opinion-24102019-JAPANESE.pdf>

	定する	
b. 環境配慮型 私募債	銀行保証付私募債の適格基準を満たし、かつ次のいずれかを満たす太陽光発電事業を行う企業に対して実施する銀行保証付私募債の引受 i. ISO14001 の認証を取得している企業 ii. 環境省のエコアクション 21 の認証を取得している企業 iii. 群馬県が認定する「環境 GS」の認証を取得している企業	<ul style="list-style-type: none"> CO₂ 削減量
c. エネルギー 効率	LED 照明や空調設備の更新、建築物の改修等、エネルギー効率の向上に資する設備導入・改修向けの融資。以下のカテゴリー (e) に該当する融資は、カテゴリー (c) から除外	<ul style="list-style-type: none"> CO₂ 削減量
d. クリーンな 輸送	以下の事業または取組みを含む、電気自動車 (EV) および燃料電池自動車 (FCV) 並びにそれを支えるインフラの購入・維持のための融資および支出 i. 群馬銀行で実施する融資 ii. 子会社であるぐんぎんリースにおける自動車リース事業 iii. その他グループ会社において取組む社用車のエコカー導入の推進	<ul style="list-style-type: none"> CO₂ 削減量
e. グリーンビル ディング	国内において認知された以下のグリーンビルディングの第三者認証および基準を満たす建築物の建設、購入または修繕のための融資 i. CASBEE : S、A、または B+ ii. DBJ Green Building 認証 : 5 つ星、4 つ星、または 3 つ星 iii. BELS : 5 つ星、4 つ星、または 3 つ星	<ul style="list-style-type: none"> 対象物件数 取得認証の種類 取得認証水準

発行体の責任

群馬銀行は、プロジェクトの説明、充当額、インパクトを含め、調達資金の充当を受けたプロジェクトの詳細に関する正確な情報及び文書を提供する責任を負います。

独立性と品質管理

投資家に環境・社会・ガバナンス (ESG) とコーポレート・ガバナンスに関する調査・格付けを提供するプロバイダとして業界をけん引するサステナリティクスは、群馬銀行のグリーンボンドによる調達資金の用途を検証しました。本委託業務の一環として、グリーンボンドフレームワークとの適合性の確認のため、群馬銀行から文書の収集及び確認を行いました。

サステナリティクスの調査は、対象プロジェクトに関して群馬銀行から提示された情報と事実に基づいています。群馬銀行が不正確又は不完全なデータを提供したことにより、本文書で示した見解、調査結果、結論が正確性を欠く場合、サステナリティクスはいかなる責任も負いません。

サステナビリティは、評価プロセスにおいて最高の品質と厳密さを確保するためにあらゆる努力をし、審査結果の評価にあたっては社内のサステナビリティ・ボンド・レビュー委員会（Sustainability Bonds Review Committee）が監督を行いました。

結論

限定的保証プロセスに基づき検討した結果²、すべての重要な側面において、群馬銀行のグリーンボンドによる調達資金の充当を受けたプロジェクトが、グリーンボンドフレームワークで規定された調達資金の用途及びレポーティングクライテリアに適合しないと判断すべき事実は認められませんでした。

調査結果の詳細

表 2：調査結果の詳細

適格クライテリア	調査手順	調査結果	特定された過失または例外
調達資金の用途のクライテリア	2020年9月30日時点でグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、グリーンボンドフレームワーク及び上の表1に示されている調達資金の用途のクライテリアとの適合性を検証。	審査したすべてのプロジェクトは調達資金の用途のクライテリアに適合していました。	該当なし
レポーティングクライテリア	2020年9月30日時点でグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、プロジェクトによるインパクトがグリーンボンドフレームワーク及び上の表1に示されているKPIと適合する形で報告されたかを検証。報告されたKPIの一覧は参考資料2を参照。	審査したすべてのプロジェクトは関連するKPIについてレポーティングクライテリアに従って報告されました。	該当なし

² サステナビリティの限定保証プロセスには、発行体の提供する、調達資金の充当を受けているプロジェクトの詳細に関する文書（プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトなど）の調査が含まれます。発行体には正確な情報を提供する責任があります。サステナビリティはプロジェクトの現地調査は実施していません。

参考資料

参考資料 1：審査対象のプロジェクトカテゴリー一覧

調達資金の 用途の カテゴリー	サブ カテゴリー	プロジェクト 数	概要	リファイナンス プロジェクトの ルックバック期間
再生可能 エネルギー	太陽光発電	102	全て太陽光発電事業向けの融資 および支出であることを確認	該当なし
再生可能 エネルギー	水力発電	1	発電容量が 25MW 未満の水力発 電事業向けの融資であることを 確認	該当なし
エネルギー 効率	-	1	LED 照明の導入に関する支出 ³ あることを確認	該当なし
クリーンな 輸送	-	5	全て EV の購入のための融資お よび支出であることを確認	該当なし

参考資料 2：プロジェクトのインパクト一覧

調達資金の 用途の カテゴリー	サブ カテゴリー	プロジェクト 数	CO ₂ 排出削減量	
再生可能 エネルギー	太陽光発電	102	3,057 t-CO ₂ /年	合計値 7,083t-CO ₂ /年
再生可能 エネルギー	水力発電	1	4,026 t-CO ₂ /年	
エネルギー 効率	-	1	8 t-CO ₂ /年	
クリーンな 輸送	-	5	3,650 kg-CO ₂ /年	

³ 群馬銀行のグリーンボンドフレームワークでは、資金用途の「エネルギー効率」カテゴリーにおいて「融資」を適格クライテリアに設定していますが、サステナビリティクスは、調達資金が当該カテゴリーで定められている環境改善効果を生み出すプロジェクトに充当されていることからフレームワークに合致していると見解しています。

免責事項

© Sustainalytics 2020 無断複写・複製・転載を禁ず

本書に包含又は反映されている情報、手法及び意見は、サステナリティクス及び／又はその第三者供給者の所有物（以下、「第三者データ」）であり、サステナリティクスが開示した形式及びフォーマットによる場合又は適切な引用及び表示が確保される場合のみ第三者へ提供されます。これらは、情報提供のみを目的として提供されており、（1）製品又はプロジェクトの保証となるものではなく、（2）投資助言、財務助言又は目論見書となるものではなく、（3）有価証券の売買、プロジェクトの選択又は何らかの種類の商取引の実施の提案又は表示と解釈してはならず、（4）発行体の財務業績、金融債務又は信用力の評価を表明するものではなく、（5）いかなる募集開示にも組み込まれておらず、組み込んではありません。

これらは、発行体から提供された情報に基づいたものですので、これらの商品性、完全性、正確性、最新性又は特定目的適合性は保証されていません。情報及びデータは、現状有姿にて提供されており、それらの作成及び公表日時点のサステナリティクスの意見を反映しています。サステナリティクスは、法律に明示的に要求されている場合を除き、いかなる方法であっても、本書に含まれた情報、データ又は意見の使用に起因する損害について一切責任を負いません。第三者の名称又は第三者データへの言及は、かかる第三者に所有権があることを適切に表示するためのものであり、その後援又は推奨を意味するものではありません。当社の第三者データ提供者のリスト及びこれら各者の利用規約は、当社のウェブサイトに掲載されています。詳しくは、<http://www.sustainalytics.com/legal-disclaimers> をご参照ください。

発行体は、自らが確約した内容の確実な遵守とその証明、履行及び監視について全責任を負います。

本書は日本語で作成されました。日本語版と翻訳版との間に矛盾もしくは不一致が生じた場合は日本語版が優先されるものとします。

サステイナリティクス（モーニングスター・カンパニー）

サステイナリティクスは、モーニングスター・カンパニーであり、環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査、格付け及び分析を行う独立系機関であり、責任投資（RI）戦略の策定と実施について世界中の投資家をサポートしています。ESG 及びコーポレート・ガバナンスに関する情報及び評価を投資プロセスに組み込んでいる、数百に及ぶ世界の主要な資産運用会社や年金基金を支援しています。また、多国籍企業や金融機関、各国政府を含む世界の主要な発行体に、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドのフレームワークに対する信頼性の高いセカンドパーティ・オピニオンを提供しています。2020年には、Climate Bonds Initiativeにより、3年連続で「気候ボンドのレビューにおける最大の認証機関」に選ばれたほか、Environmental Finance 誌により、2年連続で「最大の外部レビュー機関」に認定されました。詳しくは、www.sustainalytics.com をご参照ください。

5th Green Bond Pioneer Awards

Climate Bonds Initiative

Largest Verifier for Certified
Climate Bonds of 2019

awarded to Sustainalytics



More information conference.climatebonds.net/awards



GlobalCapital SRI Awards

Named

2015: Best SRI or Green Bond Research or Rating Firm
2017, 2018, 2019: Most Impressive Second Opinion Provider



The
Green Bond
Principles